

物価高×人手不足で12.7万社が倒産危機 今すぐリスク回避！自社の財務を強化しましょう！

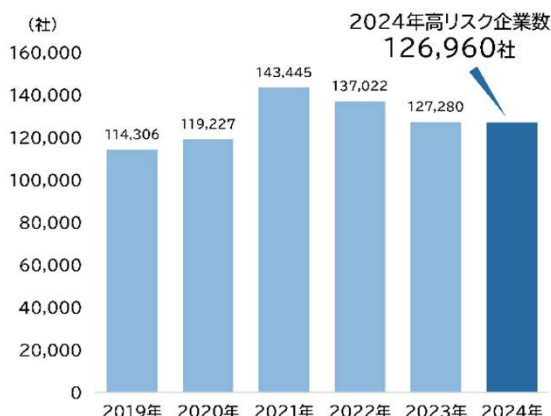
2024年の倒産件数は9901件となり、前年の8497件を1404件上回った。新型コロナの「ゼロゼロ融資」の影響で2021年は倒産が大幅に減少したが、その後の融資返済負担や物価高、人手不足などにより3年連続で増加し1万件に迫った。



倒産リスクが高い企業推移



企業が1年以内に倒産する確率を10段階のグレードで表す指標「倒産予測値」をもとに特にリスクが高い企業(グレード8~10)を「高リスク企業」ととらえ分析を行ったところ、倒産予測値算出対象の国内企業147万社のうち、2024年12月時点で高リスク企業は全体の8.6%にあたる12万6960社であった。2023年12月時点の12万7280社と比較すると320社の減少となった。

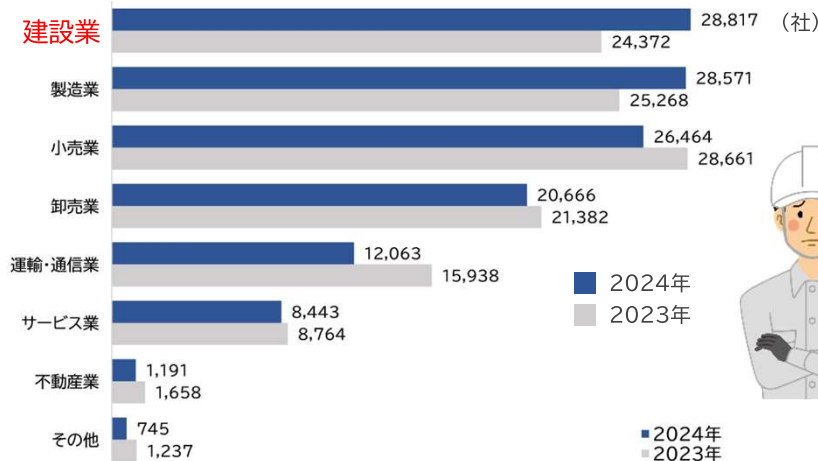


業種別では「建設業」が2万8817社で最多！

業種別に高リスク企業数を見ると、『建設業』が2万8817社と最も多く、前年と比較すると4445社増加した。

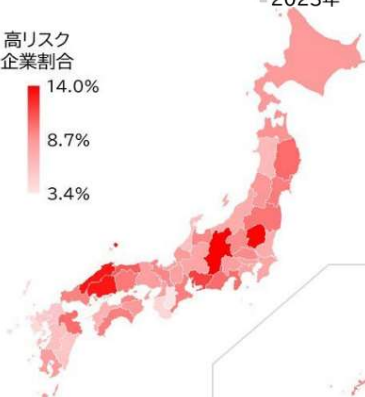
倒産高リスク注目業種

建設業・飲食店・飲食料品小売業・
運輸業・製造業



都道府県別 高リスク企業割合

都道府県別に高リスク企業の割合をみると、産業構造の違いや地域の景気に左右されるため、3%台から14%まで差がみられる。原材料高や人手不足、賃上げの影響は全国的に共通しているが、産業構造の違いや地域の景気、大手企業の業績、設備投資動向によってリスクの程度が異なる。



売上高「10億円未満」、従業員数「5名未満」が高リスク企業の9割超を占めております。
まずは財務分析を行い、自社の財務状況を確認しましょう！
詳しくは当事務所までご相談ください！

